

新規許可申請者向け！ 「そのまま使える」工事経歴書テンプレート (記入例・ミス防止チェックつき)

① フォーマットのダウンロード

以下のリンクより、工事経歴書フォーマット（Excel形式）をダウンロードしてご利用いただけます。

[【工事経歴書テンプレートのダウンロードはこちら】](#)

② 記入例

以下の記入例は、別紙（次ページ）にまとめています。参考にして作成を進めてください。※特に、一人親方や下請中心の方に向けた内容です。

③ 作成時の注意点（よくあるミス）

審査をスムーズに通すためにも、提出前に以下のポイントを必ずチェックしましょう。

- **完成工事高の額が大きい順に記載する**
元請と下請を分けず、請負代金大きい順に記載してください。それぞれの合計額や元請の額なども忘れずに記載しましょう。（兵庫県の場合は10件程度記載すればOKです）
- **許可業種以外の工事を記載しない**
電気工事業なのに「空調機の工事」を記載するなど、異なる業種の工事を記載していませんか？申請する業種に合った工事のみを記載しましょう。
- **工事名が雑になっていないか（具体的に書く）**
「改修工事」だけなど、大雑把な書き方はNGです。「〇〇工場改築に伴う外構工事」など、できるだけ具体的に記入してください。審査側は「本当に実績を積んできた人なのか」を見えています。特に、実質的に実務経験でしか取れない「機械器具設置工事」の工事経歴書などはじっくりと見られる傾向が強いです。
- **税込と税抜が混在していないか**
経審（経営事項審査）を受ける方は「税抜」、それ以外の方は「税込・税抜のどちらか一方」に統一して記載してください。シート内で混在するのはNGです。
- **500万円以上の工事を記載していないか（新規申請時）**
新規申請の場合は無許可の状態なので、原則として500万円以上（建築一式は1500万円以上など）の工事は請けられません。うっかり規制を上回る金額の工事を書いていないかチェックしておきましょう。

【作成後の確認も可能です】

工事経歴書は「書けているつもり」でも、細かい部分で差し戻しになるケースがあります。
「これで大丈夫か不安」という場合は、一度確認だけでも可能です。

▶ [無料で内容をチェックする](#)

いしの行政書士事務所

TEL:06-6430-9058

【別紙】 工事経歴書 記入例

注文者	元請 又は 下請 の別	JV の 別	工事名	工事現場のある 都道府県及び 市区町村名	配置技術者		請負代金の額		工期	
					氏名	主任技術者又は 監理技術者の別 主任 監理	総額	うち、 PC等	着工 年月	完成 年月
〇〇株式会社	元請		〇〇第2工場 改修に伴う電気工事	大阪府門真市	〇〇〇〇	レ	9,868千円		令和6年11月	令和6年12月
(株)〇〇	下請		大阪マンション新築工事に伴う電気工事	大阪府枚方市	〇〇〇〇	レ	8,278千円		令和7年5月	令和7年5月
〇〇デザイン	下請		室内設備電気工事	大阪府門真市	〇〇〇〇	レ	7,094千円		令和6年9月	令和6年9月
〇〇属工業	元請		〇〇工場 キュービクル工事	大阪府門真市	〇〇〇〇	レ	6,800千円		令和7年4月	令和7年4月
(有)〇〇	元請		〇〇物流 キュービクル改修工事	大阪府門真市	〇〇〇〇	レ	5,000千円		令和7年3月	令和7年3月

※実際に、記載内容の不備で再提出になるケースも少なくありません。

【作成後の確認も可能です】

工事経歴書は「書けているつもり」でも、細かい部分で差し戻しになるケースがあります。「これで大丈夫か不安」という場合は、一度確認だけでも可能です。

▶[無料で内容をチェックする](#)

いしの行政書士事務所

TEL:06-6430-9058